

【題材名】 第4学年 社会科「水はどこから」

【内 容】 単元の学習の終わりに、下水道についてのオンライン授業を行い、授業内容の定着や充実を図る。

【使用アプリ】 Cisco Webex (ブラウザ版)

【事例紹介】 1学期に学習した「水はどこから」の授業の発展学習として、東京にある管路管理総合研究所と連携してオンライン授業を行いました。

まず、画面共有をしながら、水の循環、下水道の役割や仕組みなどについて復習をしました。(図1)

また、実生活に必要な知識やご当地の絵が描かれたマンホールの蓋など、授業では扱わなかった内容についても紹介してくださり、児童はクイズ形式で楽しく学習をすることができました。(図2)

さらに、ティッシュペーパーとトイレトペーパーを水に溶かす実験を行い、下水道に流してはいけないものについて知ることができました。(図3、図4)

(図1)



(図2)



(図3) ティッシュペーパーを溶かした様子



(図4) トイレトペーパーを溶かした様子



【解 説】 既習内容を復習するだけでなく、様々なクイズや実験を通して、分かりやすく、楽しく学習をすることができました。通常は、なかなか招へいすることのできない専門家の話ですが、オンライン会議アプリを利用することで実現しました。児童にとってより良い学習の機会となりました。

(教育委員会主幹講評)

学校におけるICTを活用した学習場面のC4「学校の壁を越えた学習」の活用事例です。GIGAスクール構想で高速大容量のネットワークが整備され、工夫次第で遠隔地の講師の方や海外の学校を結んでの交流授業も実現可能な環境が整いました。児童生徒が実体験できないものは、ICTを活用した疑似体験や専門家の話を聞くことで、より理解度や興味・関心が高まります。市内の小・中学校でも工場見学や海外の学校とのオンライン授業の取組も増えてきました。四国中央市の子どもたちのICTを活用した「令和の新しい学びのスタイル」をより豊かなものにしていってください。